

## 留学報告書 ～私の人生の宝物体験記～

マキーン大学  
外国語学部生（長期）

カナダのアルバータ州にあるマキーン大学に長期留学しました。9月から雪が降り始め冬は-30度まで達するなど経験したことのない寒さでした。また、外を10分歩くだけでも手が寒さで痛くなり、まつげは凍りました。その分室内は温かいので、上着はすごく分厚い winter jacket に、中は半袖という Canadian がたくさんいました。実家暮らしだったため、初めは寮生活に不安でした。ルームメイトは日本人ですごく優しい方だったのですが、せっかくカナダに来たのだから異国の学生と一緒に住んで、文化や言語を学びたいと思い、相談して途中でルームメイトを変えました。それで、カナダ人のお友達が新しいルームメイトになりました。違う国の子と一緒に住んでみて文化の違いをたくさん感じました。例えば、ご飯がかなりヘビーなことです。冷蔵庫の中には大量のポテトとチーズが常にあり、夜中によくルームメイトが調理していました。また、ハロウィンが近くなると部屋がハロウィングッズだらけになったり、クリスマスには手作りクッキーをくれたり楽しかったです。授業はESLを受け、毎日英語漬けでした。特に印象に残った授業は冬学期に受講したリスニング・スピーキングの授業です。クラスメイトが4人しかいなかったため、アットホームな雰囲気です。授業を受けられました。また、私はシャイな性格で授業中にあまり発言が出来なかったのですが、クラスメイトが「ミュ発言しなよ！」と何度も促してくれたため、たくさんスピーキングの練習ができました。また、プレゼンテーションの機会が何度もあったため、そこで人前で話す力が鍛えられたと実感しています。また、聴講という形で Canadian history の授業を受けました。カナダの歴史を詳しく習えて、英語のリスニングの練習と共にカナダにより詳しくなりました。歴史館に行った際、授業で習ったことについて展示されていて、「あ！これ習ったことだ！」と嬉しくなりました。また、日本語クラスのティーチングアシスタントとして授業のお手伝いをしました。日本に興味のある学生がキラキラした目で授業を受けたり、私の話を聞いてくれたりしてこんなに日本に興味のある人が大勢いるんだと感動しました。主に、ペアワークや個人ワークの時間に教室を周って学生が分からないところを個々に解説しました。特に助詞の違いを質問される機会が多く、私たちは普段文法を気にせず話しているので、説明するのが大変でした。私も学生と一緒に授業を受け、質問されたことを学生が理解できるよう文法的に分かりやすく英語で説明することに努めました。また、定期的に日本語勉強会を開催しました。これはもっと日本語を勉強したいという学生のリクエストを受け、休日や、授業後に学生を集



め、みんなで分からないところを解説しあったり、会話練習をしたりしました。学期末にはテストを全員パスし、日本語勉強会に参加した人全員が単位を取得でき、お手伝いした私も嬉しかったです。秋学期は、日本語ビギナークラスでひらがな、カタカナや、挨拶の仕方から始まるようなクラスだったのですが、みんなのやる気とモチベーションが非常に高く、学期末には旅行で使える程度の簡単な日常会話ができるようになっていました。また、ひらがな、カタカナはマスターし、小学生の時に習うような漢字も書け、みんなの成長に感動しました。冬学期は秋学期の続きで、casual な日本語の会話を中心に学びました。これも文法的に教えなければ学生が理解できないので、casual な日本語の会話の文法構造を理解することが大変でした。将来日本に旅行に行きたい、働きたいと思っている学生も多く、こんなに多くの方が日本に関心を持っていると知れて本当に嬉しかったです。この経験をきっかけに外国人に日本のことを伝える楽しさ、やりがいを学びました。将来は、日本と外国の架け橋になる仕事がしたいと強く思いました。クラブ活動は、冬学期から Japanese conversation club が新しくできたため、そのボランティアとして毎週参加していました。クラブ活動内容は、みんなで日本のことについてクイズをしたり、日本文化を学んだり、会話練習をしたりしました。学期末にはもんなで近くの日本食レストランに行き、お疲れ会をしました。新しくできたばかりのクラブなため、今後も楽しく続けていくことを願っています。授業後や、休日はよく友達と一緒にいました。友達を作るとそこから友達の友達と仲良くなり、嬉しかったです。秋学期は日本語クラスのお友達と休日出かけたり、授業後に一緒に勉強したり、Thanks giving dinner で知り合ったお友達に Halloween の Trick or Treat に誘われ、人生で初めて仮装して、お友達の家周辺を周り、たくさんキャンディをもらいました。また、休日にはよくお友達とバーや、カラオケに行き、友達は顔が広いので、そこの行くたびに新しい友達ができ、嬉しかったです。また、よく友人宅で potluck もしました。パーティといってもカジュアルで大人数で友人宅に集まり、みんなが持ち寄ったご飯を食べ、お酒を飲みながらたくさんお話をし、嬉しかったです。冬学期は、秋学期からのお友達と遊んだり、韓国から来た交換留学生の女の子とほとんど毎日一緒に行動していました。授業後、一緒に勉強したり、一緒にお買い物したり、相談に乗ってもらったり、乗ったりなんでも話し合える親友になりました。お互い第一言語が違う中で、こんなにも信頼できる親友ができたことにとっても感謝してい



ます。やはり、秋学期の初めは友人たちの会話を聞き取ることが精一杯で、話すスピードが想像以上に早く、なんとなくこんなことを言っているのかなと推測することしかできませんでした。お友達と一対一で話しても何となくリアクションするしかできず、自分からあまり話せませんでした。(カナダ人の友達から後からあの時何を話してたか理解できず、何となく反応してたでしょ!、質問を何度かスルーされたよと言われました。)ですが、1ヶ月くらいたつとだんだん慣れてきて、お友達が何を話しているのか聞き取れるようになりました。ただ、スピーキングはまだ全然できませんでした。英語が話せない自分がすごく嫌でしたが、せっかくカナダ人や、同じ英語を学んでいる仲間と一緒にいてくれるんだから、その子たちと一緒にいて、話す努力をしようと思いました。そしたら、12月くらいになり、いきなり話せるようになりました。今までは自分の言いたいことを日本語から英語に訳し、さらに文法を考えてから話していたため、かなり時間がかかりました。ですが、まず、物事を英語で考え、それをそのまま発することができるようになりました。それから、スピーキング力は向上し、大人数の会話にも参加したり、簡単な政治の話や、ジョークも言えるようになりました。やはり、英語を学びたかったら英語の環境に身を置き、私が英語を勉強しているという理解できるカナダ人の友人や、一緒に英語を勉強している留学生の子たちと一緒に過ごすことで、自然と英語力が向上することが分かりました。この留学中、旅行を何度かしました、一番思い出に残っている旅行はロサンゼルスです。Reading week という大学の1週間の休暇を利用して韓国人の女の子と旅行に行きました。二人でロサンゼルスの観光名所を回りました。留学先でできた外国人のお友達と旅行に行くとは留学前、想像もしていなかったのですごく心に残りました。留学中にして良かったことはたくさんの人と関わり、多くの友人を作ることです。多くの経験をし、たくさんの友人に出会い、コミュニケーション能力が上がったと実感しています。せっかくできた友人と別れる時は人生で一番悲しい時でしたが、また彼らに会いに行きます。



